

平成28年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 一般財団法人 都市技術センター		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 企画推進部 事業企画課 山本 英生 電話:06-4963-2057 Fax:06-4963-2095 E-mail:yamamoto2016@owesa.jp
代表者氏名 理事長 西尾 誠		(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称 担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】
部門名 企業・団体等広報 部門	事例名 広報誌「Mer (メール)」20号発行を迎えて	
事例の概要		
1. 名称: Mer (メール) 一人と地球のうらおいマガジン 2. 発行時期: 2号/年 3. 発行部数: 3,500部/号 4. 配布先: 図書館(68箇所)、教育施設(15箇所)、若者・子供が集まるイベントや見学施設等 5. 「Mer (メール)」編集方針		
<ul style="list-style-type: none"> 平成19年に創刊した「Mer (メール)」は、大阪府内の下水道情報に加え、独自に取材した水環境や都市環境等の話題を、人々の生活と「水」との関係に重点を置き、どなたにでもわかりやすく提供することで、下水道をより身近に感じていただける広報誌として発行を重ね、今年の3月に20号の節目を迎えた。 「Mer (メール)」は若者から年配の方まで、どなたでも楽しく、読みやすく、興味が持てるよう、生活に密着した記事を、取材を通して発掘し毎号掲載している。 また、写真やイラストを多く取り入れ、子供や若者にも興味をもてるレイアウト構成としている。 人と水・自然環境とのふれあいを話題とした親しみやすいテーマに取り組む一方で、普段目に触れることは少ないが、市民生活を支える下水処理場や下水管の役割について、しっかり伝えるとともに、水の循環や地球温暖化といった地球環境全体のテーマへ展開している。 「Mer (メール)」の名称はフランス語で「海」を意味する言葉と、メッセージを伝える「メール(Mail)」の音を重ねたものである。 		
広報誌「Mer (メール)」20号		
		
エントリー事例の特徴		
<ul style="list-style-type: none"> 広報誌「Mer (メール)」は、平成19年の創刊以来10年間、継続して水の大切さや環境に関する情報をこれからの社会を担う若者世代を含め、市民へ提供している。 配布先を約250箇所と広く設定することにより、草の根的に水・環境に関する市民の関心を高める役割を果たし、また、配布先に下水道施設の他に大阪府下の図書館、教育施設を含めることで、今後の社会を担っていく若者世代をターゲットポイントとしている。 大阪府が下水道広報施設として位置付ける下水道科学館で開催されるイベントや、下水道イベント会場で配布することで、イベントとMer (メール)の相乗効果を発揮している。(下水道科学館20周年記念イベント、下水道科学館でのNPO主催のイベント、マンホールサミット、下水処理場一般公開等) 都市技術センターが高等学校のSSH7プログラムに連携・参画した記事を掲載し、現役高校生の水問題への関心の高さを発信した。(18号) 全てのバックナンバーを都市技術センターのHPから閲覧可能としており、関心を持たれた市民の口こみによる読者の広がりを可能としている。 http://www.uittech.jp/new/mer.html 		
付属資料の提出	(あり) ・ なし(どちらかに○) 直近5号分(各1部:16号~20号)	